

令和 8 年度事業計画

基本方針

昨年、日本の経済は国内外のさまざまな課題に直面した年となりました。なかでも、世界的に拡大した関税の影響は、日本国内の物価上昇や株価の変動など多方面に及び、先行き不透明な状況が続きました。

一方、20 年ぶりに日本国内で開催された「2025 年日本国際博覧会」は、多くの国と地域、政府機関などの組織や企業が協力し合い、先端技術をはじめとする新たなアイデアを創造する場として盛り上がり、持続可能で明るい未来社会を生み出す原動力となりました。

このような中、一関市次期総合計画の人口ビジョン将来展望では、20 年後の独自人口推計値が 6 万 3,022 人に下方修正され、労働力不足による経済活動の停滞、道路や水道などのインフラ、公共交通の維持困難化、児童生徒減少による学校統廃合、地域コミュニティの維持困難化などが想定され、多様な主体が連携・協力して取り組みを進めていく必要があるとされました。

このことは、一関市シルバー人材センターにおいても同様の課題であり、人口減少による会員の減少は歯止めがかからず就業拡大が困難となっています。そのため、当センターは各事務所を廃止し一関事業所に統合、事務の効率化及び就業の柔軟性を高め、より効果的な運営に取り組んで参ります。

シルバー人材センターは、就業意欲のある会員に希望する就業機会を提供することを通して、会員の生きがいの充実やその基盤となる生活の安定を与えることにより、地域社会の活性化に貢献しており、その役割はますます重要になっております。

当センターとしましても、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、公益社団法人として相応しい運営と、新たな組織体制のもと役職員一丸となって取り組んで参ります。

第 1 事業方針

1 会員、実績の目標値

	令和 7 年度		令和 8 年度
	目標値	実績	目標値
会員数（人）	450	376	420
受託件数（件）	2,900	3,039	2,900
就業延人員（人）	24,500	22,730	21,000
契約金額（千円）	168,000	151,752	150,000

第 2 事業計画

1 雇用によらない就業機会の提供について

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある社会づくりに寄与するため、地域に密着した就業機会の提供を行います。

2 雇用による就業機会の提供

(1) 労働者派遣事業

労働者派遣の派遣元である連合本部の実施事務所として、労働派遣による就業機会を提供する。

(2) 職業紹介事業

仕事を希望する一般高齢者及び会員を対象に、職業紹介による就業機会を提供する。

3 就業に必要な知識及び技能を付与するための講習

(1) 講習事業

会員のスキルアップを図るため、就業に必要な知識や技能に関する講習会や自らの健康や安全確保のための講習会を実施します。

(2) 県連合会が開催する講習会事業

県連合会が開催する各種講習会や講座等への参加を呼びかけます。

第3 事業推進のための活動

会員の生きがいの充実と福祉の向上を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するとともに、社会参加活動を促進するため、次のとおり実施します。

(1) 普及啓発事業

シルバー事業への理解と高齢者の加入促進を図るため、次の普及啓発活動を実施します。

ア 各種イベント参加し、チラシの配布及びポスターの展示等実施

イ 会報の作成配布

ウ ホームページ、ケーブルネット等への情報提供

エ ハローワーク、産業雇用安定センターとの情報共有及び説明会の実施

(2) 安全・適正就業の推進

ア 安全・適正就業推進委員会の開催

イ 安全パトロールの実施

ウ 安全・適正就業研修会への参加

エ 安全講習会等の開催

(3) 調査研究

社会経済状況や、高齢者の就業に対する意識変化に対する事業展開が求められることから、地域懇談会による会員との意見交換や県の研修会等で情報交換を積極的に行う。

(4) 就業分野の開拓・拡大

会員に適した就業や企業、民間へのシルバー業務の説明など、役職員等により実施する。

(5) 相談・情報提供

入会説明会を随時実施し、各種イベントでの事業説明を行うと共に「一人一会員入会促進・一人一仕事紹介」に努めます。

(6) 社会参加活動への推進

自主的活動に対する意識や共助精神を高めるため、ボランティア活動等を推進する。